

新グローバル時代に挑む 日本の教育

多文化社会を考える
比較教育学の視座

恒吉僚子・額賀美紗子編

教育の「国際化」が叫ばれ、私たちの身近に国際的・文化的な多様化が進行しながらも、なぜ教育の現実是不変わらず、政策は対処的なものにとどまるのか。日本における文化的多様性の教育の現在、世界と比較した日本の教育の特徴に多様な方法でせまり、日本版多文化社会における教育のヴィジョンを探る。

A5判・256頁／3300円



教育の美しい危うさ

ガート ビースタ著／田中智志・小玉重夫監訳

弱さ、不確かさから構想する、教育という営みの核。現代ますます注目される教育思想家ガート・ビースタが著した定評高い著書を待望の邦訳。教育における創造性、コミュニケーション、そしてそれらが教育のデモクラシー、複数性の政治学の条件を探究する。

A5判・240頁／4620円



【G.ビースタの著書 既刊＋近刊】

教えることの再発見 G. ビースタ著／上野正道監訳 4180円

学習を超えて G. ビースタ著／田中智志・小玉重夫監訳 (近刊)

教育学のパス論的転回 岡部美香・小野文生編 A5判・512頁／13200円

「美と教育」という謎 プリズムとしてのシラー『美育書簡』

西村拓生著 A5判・272頁／8140円

子どものための 哲学教育ハンドブック

世界で広がる探究学習

M. R. グレゴリー、J. ヘインズ、K. ムリス編

小玉重夫監修、豊田光世・田中 伸・田端健人訳者代表

子どもたちの主体的な探究を育む教育実践の最先端を、理念と手法の両面から展望した、「考える力」の育成という目標実現のための手引き。

A5判・400頁／4950円

戦後教育学の再検討

〔上〕歴史・発達・人権 〔下〕教養・平和・未来

田中孝彦・田中昌弥・杉浦正幸・堀尾輝久編

「戦後教育学」の思想とはなにか——。発達、人権、教養、平和などのテーマごとに、多世代・多領域にわたる一線の研究者・教育実践者が、次の日本の教育、近代のその先の社会を見据え、未完の課題に対する方向性を描く。

A5判・(上) 344頁(下) 360頁／各7040円

教育と国家形成 [原書第2版]

アンディ グリーン著／岡田昭人・堀尾輝久監訳

ヨーロッパ、アメリカ、日本、東アジア諸国の国家形成と教育制度の形成を歴史的に通覧した、教育史、比較教育学、教育政策史の基本文献。

A5判・520頁／7040円